

# 2021 食生態食育プロモーターズ養成講座

## 「3・1・2 弁当箱法」の B コース基本編及び実践編

NPO 法人食生態学実践フォーラムでは、「食にかかわる専門家」とそのネットワークづくりを願って、食生態食育プロモーターズ(略称「食育プロモーターズ」)養成の制度化を進めてまいりました。

今回は、「3・1・2 弁当箱法」のベースやコンセプトなど基礎学習を学びあい、「個人や団体の食のニーズに対応する食育計画・実施・評価のプログラムマネジメントができる」B コースの講座です。自分にぴったりの弁当箱を使い、適量で、バランスのとれた 1 食(「3・1・2 弁当箱法」の弁当)を作り、確認しあいましょう。

現在のところ、感染症予防対策を行い、対面での研修会を実施する予定しております。また、状況により、リモートでの研修会となる可能性もありますが、どうぞ、みな様、お誘いあわせのうえ、ご参加ください。

### 概要

1. **学習者**(学習会の参加資格者) NPO 法人食生態学実践フォーラム会員(正会員、賛助会員、学生)のみ参加いただけます。
2. **日 程** 2022 年 2 月 19 日(土) 10:00~16:00
3. **場 所** 日本女子大学 70 年館 6 階大調理室
4. **主 催** NPO 法人 食生態学実践フォーラム 理事長 針谷 順子  
事務局 〒169-0075 新宿区高田馬場 4-16-10 コーポ小野 202  
TEL・FAX:03-5925-3780 E-mail:forum0314@angel.ocn.ne.jp
5. **研修内容** 「3・1・2 弁当箱法」を用いた SDGs の活動を考える  
各自が用意した弁当箱に、主催者が用意した料理を詰めて、食べて、評価する実習を含む  
本研修会では、B コース基本編3単位、実践編1単位が取得できます。  
なお、食生態食育プロモーターズ「弁当箱法」B コースの認定は、基礎編6単位、実践編2単位の修得が必要です。今回修得された単位は4年間有効です。
6. **講 師** 理事長、食生態食育プロモーターズ講師 針谷 順子  
理事、食生態食育プロモーターズ講師 高増 雅子
7. **申込方法** 下記の URL、もしくは申込書の QR コードから、フォームに入力しお申し込みください。  
<https://forms.gle/DN9wKMgAjfJhviHM9>  
メールでも受け付けております。[forum0314@angel.ocn.ne.jp](mailto:forum0314@angel.ocn.ne.jp)  
受付後、参加者には連絡事項等、事務局からお知らせをいたします。  
なお、2 月 11 日までにメールが届かない場合は事務局へお知らせください。
8. **参加費** 無料  
材料費 1000 円 (リモートになった場合は、無料)
9. **当日準備しておくもの**
  - ①食育弁当箱(当フォーラムで販売する弁当箱。正会員の方、「3・1・2 弁当箱法」の研修会に参加された方にはすでにお渡ししています。お持ちでない方は申し込みの際、お知らせください)。
  - ②「3・1・2 弁当箱法」基本版リーフレット(当フォーラムホームページよりダウンロードできます)。
  - ③ SDGs パンフレット(お知らせと一緒に配信します。事前に目を通しておいてください。)
  - ④ エプロン、三角巾、
  - ⑤ A4 白紙 1 枚、筆記用具

## 食生態食育プロモーターズとは

食生態学や関連の研究・実践の成果等の科学的根拠をふまえ、豊かな愛情で実践する食にかかわる専門家であり、そのネットワークづくりを進める仲間と考えています。

その実現のためには次のような力や展望が重要と考えています。

- “食”に関して、その人(々)や地域にとって、プライオリティの高い重要課題に敏感に対応し、質の高い解決の方法やネットワークをすすめることができる
- 食生態学や関連分野の研究・実践の成果等科学的根拠を理解し、適切に活用できる
- 学習者主体で参加型、たのしく進める効果的な学習スキルや実践スキル(教育的アプローチのスキル)と、これらを実現可能かつ、持続性の高い食環境づくり(環境的アプローチ)の実践スキルと、これらを統合的に活用できる
- 実践の企画、プロセス、結果等を的確に評価し、次の実践へ活用できる  
これらのプロセス、課題を関係者と共有し、協働のネットワークを形成できる

## 食生態食育プロモーターズ養成カリキュラム I

上記のような主旨のもと、共に仲間として活動していく食育プロモーターズについて、具体的に次のようなカリキュラムの養成講座を開催します。

1. コース(レベル): 食育プロモーターズのコースは次の3つのコースに分かれています

### 食育活動のコースと履修単位

コース	活 動 内 容	履修単位数	
		基本編	実践編
A	1) 地域レベル、政策論、食環境づくりも含めた食育に関する計画・実施・評価のプログラムマネジメントができる 2) B・Cコースの人材を養成することができる	8	4
B	個人や集団の食のニーズに対応する食育に関する計画・実施・評価のプログラムマネジメントができる	6	2
C	自分や、身近な人の食のニーズに対応する食育に関する計画・実施・評価ができる	4	1

※1 単位: 90 分

### 2. 講座のシステム

- 1) 食生態食育プロモーターズ養成カリキュラムは、「3・1・2」弁当箱法を実践ツールとしたカリキュラムです。
- 2) 講座の構成: **基本編**と**実践編(3・1・2 弁当箱法)**からなります。
- 3) 受講のステップ: レベル C からの受講となります。
- 4) 履修: 上表は標準的なものです。これまでの活動や当フォーラム主催の研修会参加等は読みかえ又は加算が可能です。
- 5) 履修単位の登録: 随時開催する講座に参加し、習得した単位は登録をすることができます。
- 6) 各コースの承認: 所定の単位を修得した場合、認証することができます。認証は別に定める委員会が所定の手続きで行います。

# 2021 食生態食育プロモーターズ養成講座申込書

申し込み締め切り:2月 11日(金)

NPO 法人 食生態学実践フォーラム  
Fax:03-5925-3780

○下記の URL をクリックするか、QR コードから申込書にお入りください。

<https://forms.gle/DN9wKMgAjfJhviHM9>



○メールで申し込まれる方は、メールに下記内容をお書きのうえお申し込みください。

2月19日に実施する NPO 法人 食生態学実践フォーラムプロモーターズ  
養成講座 Bコース に出席します

正・賛助会員       学生会員

食育弁当箱を持っていない。

(当フォーラムで販売している弁当箱。正会員の方やこれまで実施してきた「3・1・  
2弁当箱法」研修会に参加された方にはお渡ししています)

氏名(フリガナ)

メールアドレス

連絡先住所

〒

緊急時連絡先電話

参加に際し、ご要望ご意見がございましたら、お書きください